

2024年3月期決算説明会 質疑応答（要旨）

【開催日時】 2024年5月14日（火） 17：00～18：00

【出席者】

- ・代表取締役 グループCEO 村井 豪
- ・代表取締役 グループCOO 栢木 伊久二
- ・取締役 常務執行役員 重見 一秀
- ・常務執行役員 林 新一郎

※本資料は、2024年3月期決算説明会における質疑応答の内容を要約したものです。皆様にご理解していただきやすいように、一部内容の加筆・修正を行っております。

【質疑応答】

Q1. 「ALSOK 設備レスキュー」について、現在の手ごたえと、今後の見通しについて教えてください。

A1. 本年2月からサービス提供を開始し、7月からはサービス提供エリアを全国へ拡大する予定です。一般的な建物であれば、ほとんどの設備（15種類の設備）の障害について緊急措置を提供できます。多くのお引き合いがあり、すでに数十件の受注をいただいています。

Q2. 「ALSOK 設備レスキュー」は、老朽化が進んでいるマンション等への導入が期待されると思います。引き合いの状況と今後の見込みを教えてください。

A2. 人手不足の中、マンションの管理体制を24時間保つことは非常に難しくなっており、働き方改革の面からも、代替手段としてALSOKに依頼するというような問い合わせ等があります。多くのお問い合わせをいただいております、マンションの管理組合や管理会社から提案の依頼をいただくこともあります。全国すべての地域をお任せいただけるような大型契約の受注は全国展開後に見込めると考えており、準備を進めています。

Q3. 機械警備や常駐警備の値上げ形式（一律、案件毎の対応）をお教えてください。また、今後ベースアップによる人件費増加が考えられますが、今期、機械警備や常駐警備の利益率は改善されるのでしょうか。

A3. 機械警備や常駐警備における価格改定の実施と方法についてご説明します。常駐警備は労務費率が高いため交渉を従前から進めています。お客様にもご理解いただいております。

りますが、契約更新時やお客様の決算のタイミングなどで価格改定は進展します。機械警備でも価格改定を進める予定ですが、お客様との具体的な交渉内容の詳細についてはお答えできませんのでご理解ください。

利益率が改善するか否かについてですが、原価が上昇した分をお客様にご負担いただくということであり、基本的に価格改定で利益率が改善するということではありません。利益率の改善は、効率性を改善し原価圧縮に努めることで実現するものだと考えています。現状、当社には3G停波対応という大きな負担があり、今期・来期で各40億円程度の費用が見込まれており、経常利益率の押し下げ要因となっています。ただし、この費用は2年で完了するので、その後は機械警備業務において年40億円程度の費用が減少することになります。

Q 4. 配当方針の変更と自己株式の取得を発表されましたが、資金の有効活用という点で非常に良い施策と思いました。総還元性向が100%程度になるとのことですが、今後も方針として継続するのか、あるいは、自己株式取得を決議される際の方針があれば教えてください。

A 4. 今回、配当性向の方針を40~50%程度の間引き上げました。安定配当も含めて、継続に努めるとしております。自己株式の取得を含めた総還元性向100%程度という点については、今期の状況を踏まえ、十分に積み上がった自己資本で将来投資が可能であると判断したことからであり、総還元性向100%程度について継続を決めたものではありません。

Q 5. 価格改定について、前向きに理解しております。一方で、人件費の上昇や公正取引委員会等から警備業やビルメンテナンス業の値上げについての指摘が背景にあると思えます。人件費が上昇し続ける局面においては、今後も利益率を維持するための方法として価格改定を継続的に検討するものと理解してよろしいでしょうか。

A 5. 価格改定については、物価・人件費の上昇があれば、継続的にお願いするのが望ましいと考えております。そういった過程において、我々も当然、生産性を向上させる等の努力が必要だと思しますので、やみくもに努力もせずにお願ひするのではなく、原価を下げる努力をした上で、価格改定をお願いしていきます。

Q 6. ROE 10%に対するこだわりをかなり感じました。今後もROE 10%達成に向け、仮に、当期純利益の不足感があれば、自己株式の取得を行うということだと認識しましたが、よろしいでしょうか。

A 6. ROE 10%についてのこだわりを強くご評価いただいたとのことですが、目標として掲げるからには、強く意識して達成に向けて最大限努力いたします。いくつかの前提を置いた上ではありますが、ROEは9.7%程度の実力があると理解しているので、残り2

か年、まずは利益の積み上げによってROE10%を実現するべく、取り組んでまいりたいと思っております。今から利益が達成しない前提でお話するのはどうかと思いますが、その時にはその時で検討していきたいと考えております。

Q 7. セコムの決算説明会で新社長から値上げについて言及がありました。特に、競合他社との顧客属性の違いから、御社の方が値上げをしやすい部分があるといったお話があれば、御社の値上げの蓋然性をかなり前向きに評価できると思っておりますが、この点に関してはいかがでしょうか。

A 7. 昨年11月に公正取引委員会から「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」が発出され、警備業やビルメンテナンス業は価格改定が進まない一番手であるとのこと指摘いただき、これまで価格改定がなかなか進まなかった業界だと真摯に受け止めております。そういった中で、人件費や各種物件費も他業界と同様に上昇しておりますので、しっかりと価格改定をお願いしていきたいと思っております。

ただ、そうは言っても、機械警備のマーケットは、弊社とセコムでやや寡占的な状況であり、この中で競争関係が無くなるのは不相当だと思っております。

価格改定についても、他社の動向を見て判断するのではなく、我々の原価構造の中で必要となる部分について、価格改定をお願いしたいと思っております。当たり前ですが、他社と何も申し合わせをしておきませんので、2社間で水準が異なることは十分ありますし、自由競争の中でお客様にお選びいただくような努力が必要だと認識しております。不安要素が全くないかといったらそういうことではないですが、両社とも人件費の割合が大きいという意味で構造は似ていると思っておりますので、それぞれの会社でしっかり判断して進めていけば良いと思っております。

Q 8. 2024年3月期の業績において、機械警備業務や体感治安の悪化の影響が表れているようなサービス・機材があればお教えてください。

A 8. 機械警備分野に関しては、画像で確認できる「ALSOK-G7」等が非常に好調です。機械警備にプラス α をして付加価値を提供する、「ALSOK 設備レスキュー」、「ALSOK ITレスキュー」等でも、多くのお引き合いをいただいております。

広域連続強盗事件の発生以降、体感治安については悪化していると思っております。報道されているような様々な事件に関連して、我々がお客様のニーズをいかに解決していくかが重要だと思っております。

Q 9. 2025年3月期の業績予想についてです。特に、法人向けにおける価格改定の進捗具合によって、利益ベースで上振れの余地がどの程度あるとみているのでしょうか。また、現状の見積りは、保守的・楽観的、どちらでしょうか。

A 9. 実施時期と価格改定の幅において3段階程度で見積もっておりますが、どこに落ち着

くかによります。真ん中より上で落ち着けば上振れはします。真ん中程度であればこちらに記載している数字程度になるかと思います。正直に申し上げますと、社内目標はもう少し高いところを目指していますが、あくまでも目標であり、予想とは少し違うというところで具体的な数字に関しては勘弁していただきたく思います。

Q10. 語弊があるかもしれませんが、体感治安の悪化に関して、御社の事業展開の上で、ある程度追い風に感じている部分があるのか教えてください。

A10. 体感治安の悪化に伴い、当社ホームページへのアクセス数等が増加することは事実であり、当社が活躍するフィールドは拡大していると認識しております。当社として、体感治安の悪化を願っていることは決してありません。むしろ、これまでの歴史の中で、機械警備の普及が体感治安の低減に寄与してきたのではないかと考えています。

Q11. 「警備業界は価格改定が進まなかった」とのお話がありました。機械警備は契約期間がある程度長期で、あまりスイッチングコストが低い非常に良いビジネスだと思われていますが、これまで価格改定がしづらかった理由をお教えてください。

A11. お客様からみたスイッチングコストが高いというのは事実で、手前どもの機械警備契約維持率が95%を超えていることを考えると、非常に恵まれていると思います。これまでの業界の歴史を振り返ると、より普及しやすい価格設定により機械警備のマーケットを拡大してきたのだと思います。ただ、現在は、努力では追いつかないほど様々な原価が上昇し始めるなど、局面が変わりました。市場拡大の面において価格改定に一定のリスクが存在することは理解しておりますが、価格改定を実施していくことを決定しました。

警備業界だけではなく日本全体として、原価上昇の局面に立たされてこなかったことで、これまで価格転嫁せずに市場・収益の拡大が成功してきたということではないかと考えております。

以 上